



大気中の「二酸化炭素」
北海道でも
増えていくのか？

国立環境研究所
地球環境研究センター
大気・海洋モニタリング推進室長

町田敏暢



「脱炭素社会」は
実現可能なの？

国立環境研究所
地球環境研究センター 副センター長

江守正多



毎年のように聞く
「異常気象」
何がどう変わったのか？

気象庁 札幌管区気象台
気候変動・海洋情報調整官

小司 晶子

変貌する十勝の気候と地球温暖化

国立環境研究所 地球環境セミナー

2019 **2/16** ± 13:30~16:00
(開場 13:00)

とかちプラザ4F 402号講習室
参加無料・要事前申込(先着70名)

<会場アクセス>

とかちプラザ 帯広市西4条南13丁目1番地 JR帯広駅より徒歩3分

<申込方法>

セミナー参加ご希望の方は、北海道十勝総合振興局まで、お名前と電話番号を添えて下記のいずれかの方法でお申し込みください。

- メール tokachi.kankyo10@pref.hokkaido.lg.jp
- 電話 0155-26-9027
- FAX 0155-22-3746

*体験イベントは登録無しでご参加いただけます。

<主催>

北海道十勝総合振興局、北海道環境財団、国立環境研究所

<後援>

帯広市



*他にも実験や、VRコンテンツなど盛りだくさん!

変貌する十勝の気候と地球温暖化

日時: 2019年 2/16(土) 13:30~16:00 (開場13:00) 参加無料・要事前申込 (先着70名)

会場: とかちプラザ 帯広市西4条南13丁目1番地 (JR帯広駅より徒歩3分)

■ 開催趣旨

2016年に発効したパリ協定は、温室効果ガスの排出を今世紀末には実質ゼロにするという目標を掲げています。また、2018年10月に公表されたIPCCの特別報告書では、温暖化を1.5°Cで止めるためには脱炭素のスピードをさらに上げなければいけないと結論づけています。

本セミナーでは、さまざまなCO₂ (二酸化炭素)観測手法と最新の観測結果、十勝地方や周辺地域での気候変化と将来予測、また、パリ協定の目標を達成するために不可欠な「社会の大転換」について、3人の講師が最前線の研究成果を踏まえた情報提供を行い、参加者との対話によりさらに理解を深めたいと思います。

■ 申込方法

北海道十勝総合振興局まで、お名前と電話番号を添えて下記のいずれかの方法でお申し込みください。

○メール

tokachi.kankyo10@pref.hokkaido.lg.jp

○電話 0155-26-9027

○FAX 0155-22-3746

■ 主催

北海道十勝総合振興局、
北海道環境財団、国立環境研究所

■ 後援

帯広市

*体験イベントは登録無しでご参加いただけます。

■ プログラム

13:00

開場・受付開始

13:30~13:35

開会挨拶 ... 国立環境研究所

13:35~14:00

増え続けているCO₂—北海道では? 世界では?—



... 町田 敏暢 (国立環境研究所)

CO₂って増えているとは聞いているけど本当なの? そろそろ増加は鈍ってきたのでは? と思われている方にもいない方にも、観測の最新事実をお見せします。加えて、いつから増え始めたのか、場所によってCO₂の多いところや少ないところはあるのか(北海道はどうなの?)といった疑問についても様々な観測手法の紹介とともに解答をお示しします。

今の事実を知ることが将来の行動のきっかけになればと思います。

14:00~14:25

十勝地方の気候の変化



... 小司 晶子 (気象庁 札幌管区気象台)

十勝地方や周辺地域での気候の変化を、観測データを使ってご紹介いたします。

さらに、今の生活を続けていくと十勝の気候はとなると予測されているのか、簡単にご紹介いたします。

14:25~14:50

「脱炭素社会」構築に必要な「大転換(トランスフォーメーション)」



... 江守 正多 (国立環境研究所)

地球温暖化の影響はすでに顕在化し、海面上昇や極端な気象などにより深刻な被害の危険があります。2018年10月に公表されたIPCCの1.5°C特別報告書の結論をどう受け止めたらいいのでしょうか。今後は温室効果ガス排出削減策(緩和策)と同時に影響に対する適応策も進めなければなりません。

パリ協定の目標達成には、これまでにない価値観の変化を含めた「社会の大転換」が必要です。

14:50~15:15

休憩

15:15~15:55

ディスカッション

15:55~16:00

閉会挨拶 ... 北海道十勝総合振興局



他にも実験や、VRコンテンツなど盛りだくさん!